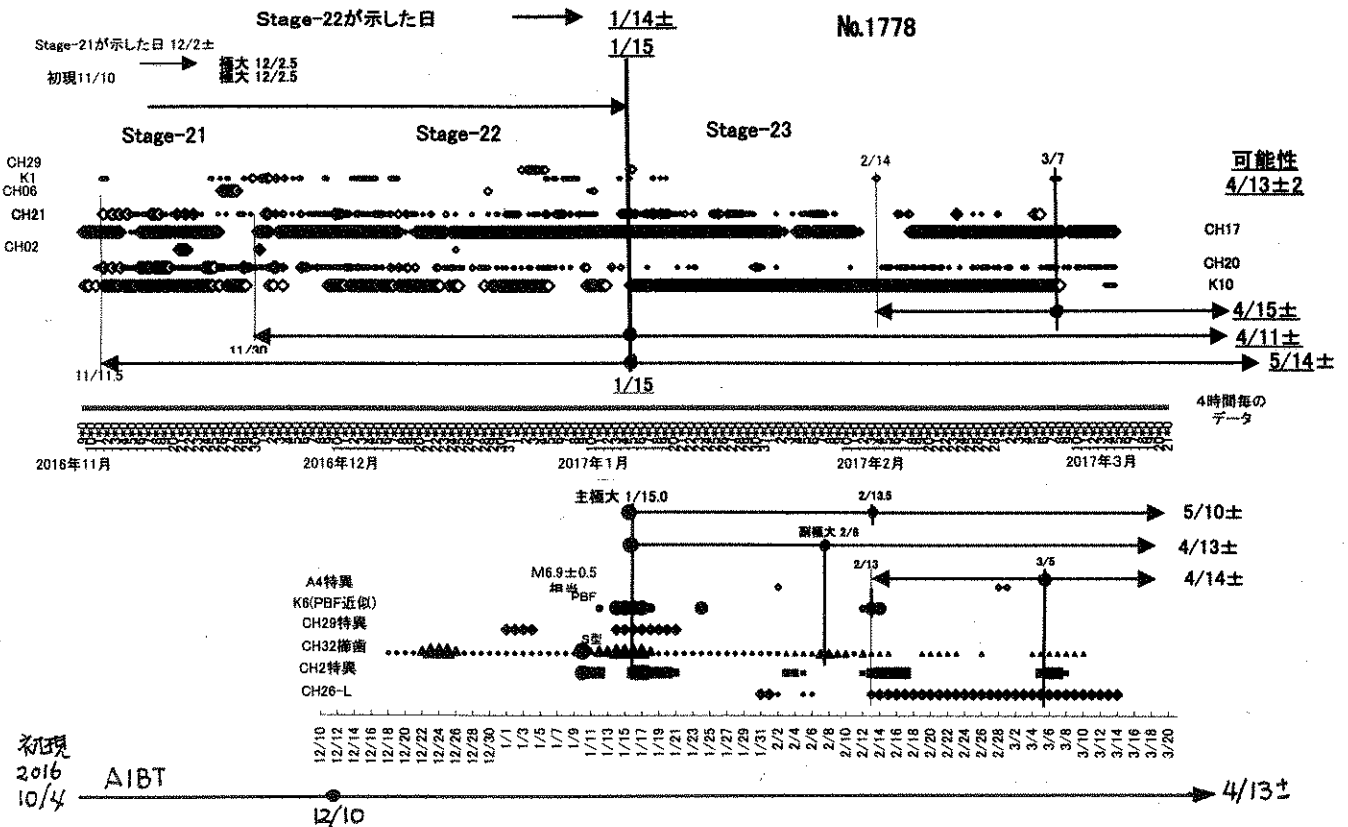


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 前兆継続→次の考え易い可能性=4/13±2



No.1778長期継続特殊前兆の続報現況報告です。3/14未明段階で前兆終息が確認できた場合は、3/15±発生の可能性も考えられましたが、本日3/14午後現在、前兆は、CH17=糸状 CH20=特異 CH26=弱い特異 K10=微弱特異 と継続出現中です。  
K10の微弱特異は、3/8以前迄継続出現していたやや顕著な特異状態とは異なり、基線の不規則変動で弱い状態が出現しています。それ以外に顕著な新規前兆出現も無く、現状3/13~14に極大認識はできません。このことから、前号迄の第23ステージの前兆関係認識に誤りがあったことが明らかとなりました。上図(上=No.1778地震前兆 下=K6-PBF他火山帯近傍地殻地

震前兆とAIBT)の前兆出現状況図です。3/13±又は3/15±を示す前兆関係認識を削除しました。あらためて見直しますと、各々3種の前兆群で共通として4月13日±2時期を示す関係も見いだせます。  
No.1778前兆群とK6-PBF他前兆群では、4/13±の他に5/10~14±も可能性として否定できませんが、AIBTでは初現 2016.10/4極大12/10の関係からは4/13±より先は計算できません。実際の前兆終息を観測して、発生時期を求めますが、仮に4/13±の場合は、今後極大が現れなければ4/4±に各前兆が終息する可能性も示唆されます。実際の変化を鑑み続報させて戴きます。

- No.1778前兆 ◆推定領域: 右図 点線領域内=大枠推定域  
太線領域内=可能性考え易い推定域  
(活動度に関係なく、ある程度火山に近い領域の可能性有)
- ◆推定規模: M7.8±0.5  
(前兆評価誤認の場合でも最低M6.9±0.5)
- ◆推定時期: 今後の前兆終息変化等を鑑みて推定予定  
今後新規極大が出現せず 4/4±に前兆終息が観測された場合⇒4月13日±2の可能性有
- ◇推定地震種: 震源が浅い(30km以浅)日本列島の陸域地殻地震  
◇推定発生時刻: 午前09時±1(又は午後06時±3)

